

# 4つの観点による授業づくりと評価

## (1) 毎日の振り返りの実施

毎日の振り返りを授業づくりの基本としている。

放課後、授業担当者が集まり短時間の、意見交換を行う。その際、いろいろな意見を出し合うことで、新たな気づきを得て、児童生徒の実態や理解を深める。そして、次の授業に向けて具体的に何を準備し分担するかなど段取るようにする。

### 振り返りの4つの視点

#### 振り返りのサイクル



一週間の曜日毎の振り返り日程は下図の通りである。研修部が校内放送でアナウンスし、各グループのT1が中心に進める。

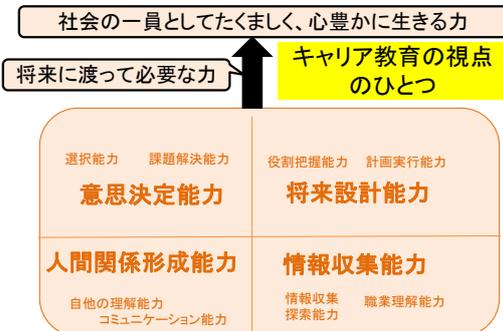
月	火	水	木	金
小 学 職業(ソファ) 部 T1: 藤元海斗	小 学 修 習 部 T1: 藤元海斗	小 学 修 習 部 T1: 藤元海斗	小 学 職業(ソファ) 部 T1: 藤元海斗	小 学 職業(ソファ) 部 T1: 藤元海斗
中 学 活動学 部 T1: 西山	中 学 英語 部 T1: 伊藤	中 学 英語 部 T1: 伊藤	中 学 職業(ソファ) 部 T1: 藤元海斗	中 学 職業(ソファ) 部 T1: 藤元海斗
高 校 職業(ソファ) 部 T1: 藤元海斗	高 校 修 習 部 T1: 藤元海斗	高 校 修 習 部 T1: 藤元海斗	高 校 職業(ソファ) 部 T1: 藤元海斗	高 校 職業(ソファ) 部 T1: 藤元海斗

※15:10~15:25(15分) 学習グループの〇T1が声をかけて進める。・終了時間を守る。  
・他の会場は基本的に15:30~1行。・※印は授業実施日と振り返り実施日が異なるもの。・口印は研究授業対象の授業

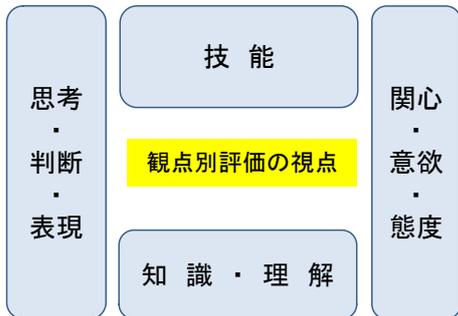
また、振り返りの際の記入用紙を作成し、3学期中に一度提出をして内容の共通理解を図った。

## (2) 授業づくりの観点

授業づくりを考える際に、例えば下図に示すような「キャリア教育の視点」を取り入れる。特に、児童生徒一人一人にとって「将来に渡って必要な力」は何かを的確に把握することが重要と考える。



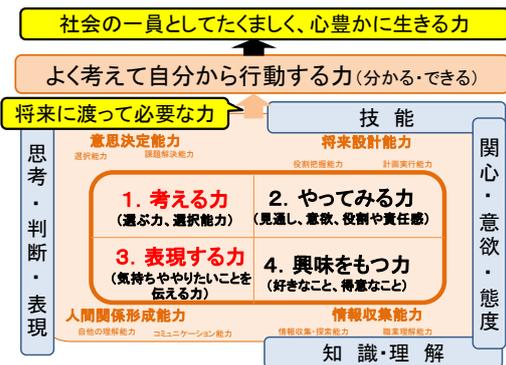
次に、観点別評価の視点である。次頁の図のように捉えている。



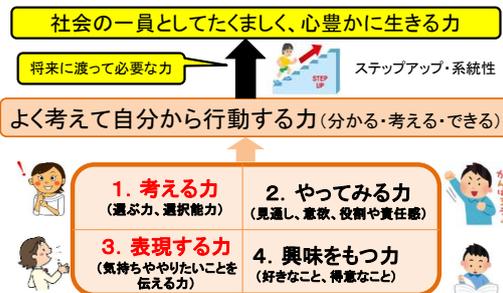
今年度の校内研修では、この4つの力を「授業づくりの4つの観点」とする。



これらを一つの図に重ね合わせた図が下図である。さらに、これまでの校内研修の協議の中で特に話題に上がり、大切な力とが、「考える力」「やってみる力」「表現する力」「興味をもつ力」である。



これら4つの育てたい力をもとに、児童生徒一人一人が、社会の一員としてたくましく心豊かに生きる力をつけることを目指す。

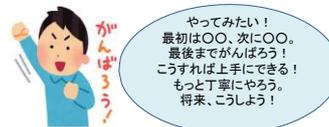


以下、それぞれの力についての簡単な説明である。

### 考える力



### やってみる力



### 興味をもつ力



### 表現する力



## (2) 授業改善チェックシート

これまで述べてきた「キャリア教育の視点」や「授業づくりの観点」をもとに、下図のチェックシートを作成した。昨年度までのチェックシートをもとに、チェック項目を決定した。合わせて、「教室環境改善」と「教材教具の工夫」についてチェックするようにした。

H27 富岡養護「授業改善チェックシート」		
チェックした授業 ( ) 記入日 ( )、記入者 ( )		
気 づ く ↓	<b>キャリア教育の視点</b> 	
	1 現在の、実態と課題の把握は適切か？      2 現在の、学習と生活へのつながりは明確か？ 3 現在の、保護者・関係機関との連携は密か？      4 学年間・学部間の学習の系統性が明確で連携が密か？ 5 将来の夢や卒業後の姿の想定は具体的か？      6 将来に渡って育てたい力の想定が適切で、明確か？	
	→段取る (メモ)	
	<b>授業づくり</b> 	
	授業のねらい 1 具体的・段階的・短期的に達成を確認できるか？      2 学年・学部との系統性を考慮しているか？ 3 児童生徒自身がねらいを理解できるか？      4 T T間で毎回、確認・共有しているか？	
	<b>授業づくりの4つの観点</b> <b>1 「考える力」</b> <b>2 「やってみる力」</b> 1 集中できるよう刺激を最小限にしているか？      1 活動の見通しを見て分かるようにしているか？ 2 見て分かる視覚支援を工夫しているか？      2 学習に必要な身体の動きを考慮しているか？ 3 言葉がけは適切でシンプルか？      3 一人でできるように手だてを減らしているか？ 4 しっかり待ち考える時間を確保しているか？      4 責任をもち最後までやろうと思うよう工夫してるか？ <b>3 「表現する力」</b> <b>4 「興味をもつ力」</b> 1 しっかりやりとりして授業を進めているか？      1 好きなこと・得意なことを授業に取り入れているか？ 2 選択場面を適宜取り入れているか？      2 興味をもつよう注意や関心を引いて進めているか？ 3 児童生徒自身の伝える方法を保障してるか？      3 必要な知識が着実に増えることを確認しているか？	
評価 1 授業毎のねらいの達成度を確認しているか？      2 T T間で毎日振り返りを行っているか？ 3 児童生徒が自己評価できるよう工夫してるか？      4 柔軟にねらいや指導内容・手だてを変えているか？		
→段取る (メモ)		
気 づ く ↓ 深 め る	<b>教室環境改善</b> 	<b>教材教具の工夫</b> 
	1 基本的な清掃と整理整頓がされているか？	1 実態に合っているか？
	2 安全への配慮がされているか？	2 ねらいが明確か？
	3 感覚刺激への配慮がされスッキリしているか？	3 興味関心を生かしているか？
	4 学級や授業で大切にしていることが見て分かるか？	4 シンプルで誰でも再現可能か？
	5 生活や学習の見通しや動線が見て分かるか？	5 一目で動作をイメージできるか？
	6 必要な学習の成果や掲示が適宜されているか？	6 児童生徒も教師も使いやすいか？
	7 掲示の場所や方法にルールはあるか？	7 実際の生活や他の場面で生かせるか？
→段取る (メモ)	→段取る (メモ)	
(参考) 教室環境改善 基本の「4ステップ」		
ステップ1      ステップ2      ステップ3      ステップ4 清掃      足し算+      引き算-      授業や学級経営の 整理整頓      (やってみる)      (精選する)      ねらいの明確化 安全点検		

年二回の研究授業の際に、指導案の添付資料とした。詳細は「指導案集」を参照。